一般財団法人
住友病院

Sound

vol.45

SUMMER
2019.July/August/September

住友病院だより【さうんど】

特集 新院長、名誉院長インタビュー

- 外科系副院長、救急科診療主任部長 就任のご挨拶
- NEW FACE
- CLOSE UP！／がんドックのご紹介
- 季節のヘルシーレシピ／スイカのフローズンヨーグルト
- 地域医療連携部 新部長ご挨拶
- 連携クリニック／今川クリニック
  堀江やまびこ診療所

ご自由にお持ち帰りください

Illustration:Yousuke Asakusa

人と人との信頼が生まれる“優しい病院”でありたい

住友病院の院長のオファーがある以前、この病院についてはどのような印象をお持ちでしたか?

金倉 譲院長(以下、金倉)

私は大阪大学に長くおりましたが、住友病院は、近代的な良い病院だと思っておりました。医療のレベルも以前から高かったです。医師だけでなく、看護師や薬剤師といった医療スタッフのレベルも高く、職場の雰囲気も良い。その他、環境や食事なども含めて総合点が非常に高い病院だと思っておりました。

実際に院長のオファーを受けた時はどうでしたか。

金倉 やはりこの病院の一員になれることを嬉しく思いました。と同時に、長い歴史があり、そこで培われた品格がある。そのような病院で、責任のある立場に就くということは、身が引き締まる思いがいたしました。

今後、院長として大切にしていきたいこととは?

金倉 これは前院長の松澤先生も同じお考えでしたが、『優しい医療を実現したい』と思っています。この“優しい”という言葉は、様々な思いを込めて使っています。患者さまへの対応、患者さまの病気を治したいという思いに応えられる質の高い医療の提供など、今まで通り、優しさのある病院であり続けたいと思っています。

そして“信頼”です。人と人とのつながりは、信頼できるかどうかが大切です。患者さまと医師、そしてスタッフ間においても、信頼関係が築いていけるような病院であらねばなりません。管理者側として現場の声もしっかり聴いて、不足している点を補っていくことも大切だと考えています。スタッフからもどんどん意見がほしいですね。私は常に扉を開けていますので(笑)。

「地域への貢献」も住友病院の指針でいらっしゃいますが、地域との連携はどのようにお考えですか?

金倉 この病院は質の高い医療レベルを有しつつも、一方では、地域の診療所からも直接患者さまが来られる病院です。地域医療連携部を窓口にして各医院、企業診療所との連携を密に取りながら、救急医療も充実させていきたいと考えています。

地域の方々の健康管理についても力を入れておられますね。

金倉 そうですね。この病院は健康管理にも力を入れています。当院の健康管理センターは、人間ドックなどの総合健診や、企業や個人の定期検診、産業衛生健診の一つであるVDT健診(パソコンやテレビなどのモニター機器を利用した健診)を実施しています。これらの健診内容もさらに進化させていくとともに、各分野の専門医師と密接に連携し、より適切な健康指導をさせていただく体制を整えていくつもりです。

今後、新たに取り入れていきたい施策はありますか。

金倉 ゲノム、つまり遺伝子医療、そしてAIなどの最新技術についても推進していきたいと考えています。現時点ではまだまだ研究段階の分野ではありますが、導入すべきものは遅れることなく導入し、そのような医療を求められる患者さまにも対応できるようにしていきたいと考えています。例えば、遺伝子を解析することで、病気の早期発見や新たな治療選択肢が見つかる時代が来ると思います。

住友病院では、6月より松澤佑次院長が名誉院長・最高顧問に就任され、新たに金倉譲大阪大学名誉教授を院長に迎えました。今号では、松澤佑次名誉院長・最高顧問、金倉譲新院長にお話をうかがいます。

住友病院　院長

金倉　譲

Yuzuru Kanakura

PROFILE

1979年3月	大阪大学医学部卒業
1983年3月	大阪大学大学院医学部内科系博士課程修了
1983年6月	大阪府立成人病センター第５内科
1985年7月	大阪大学医学部附属癌研究施設 腫瘍代謝 助手
1988年6月	大阪大学医学部第二内科 助手
1988年7月	米国ハーバード大学医学部 ダナ・ファーバー癌研究所留学
1997年1月	大阪大学医学部血液・腫瘍内科学教授
2010年4月	大阪大学医学部附属病院副病院長
2014年4月	大阪大学医学部附属病院病院長
2014年4月	大阪大学副学長
2019年4月	大阪大学名誉教授
2019年6月より	一般財団法人住友病院院長就任

地域との絆を築き上げる その目的に一丸となって

住友病院の院長として指針とされていたこととは何でしょうか。

松澤佑次名誉院長・最高顧問（以下松澤）

私が院長を務めさせていただいた16年間、住友と名のつく病院である限り、住友グループ全体の名に恥じないよう品格のある病院でなければならないと考えていました。

住友の家訓に『浮利に趨り軽進すべからず』『信用を重んずべし』とあるように、単に利益を得るための病院ではなく、地域の方々から信頼される質の高い医療を提供することを基本姿勢としてきました。

実際、院長として病院を運営されてこられた中で、苦心されたこととはどのようなことでしょうか。

松澤　現在の医療は専門化が進んでいます。このこと自体は先端医療の発展につながる重要なことではありますが、診療体制も同じく細分化されていくことには問題があります。私は内科医ですが、病気というのは必ずしも内科だけに留まるものではなく、全身のいろんな場所の連関の中で発生するものですから。

具体的にはどのような施策を取られてきたのでしょうか。

松澤　各科同士のハードルを低くして連携しやすい枠組みを作ってきました。住友病院は出身大学がさまざまであることもあり、出身大学は関係なく『住友病院』の名のもとに同じ方向を向いて、チームワークが形成されているのです。そのため、科を超えてひとつの病気に向き合う土台ができているのです。

住友病院という名前から「企業のための病院」という印象を持つ人も多かったようですが。

松澤　その通りです。それらを払拭すべく『断らない医療』を指針として救急や地域連携にも積極的に向き合うことで、地域医療の病院なのだという理解を得られるよう邁進してきました。これは困難で地道な努力でしたが、ここ数年でやっと理解を得られるようになったのではないかと思っています。

今後は名誉院長・最高顧問となられるわけですが、どのような活動に取り組んでいこうと思われていますでしょうか？

松澤　私の後任の金倉譲病院長は、大阪大学血液・腫瘍内科の教授で、また大阪大学附属病院病院長も務められ経験も豊かで、住友病院をさらに発展させていただけるものと期待しています。

また、私自身の専門は、生活習慣病などに関する予防医学で、『メタボリックシンドローム』を提言してきました。そして、いま企業にとって非常に重要なミッションは、病気の従業員を早期に発見することはもちろん、病気になりやすい従業員を早期に発見して行動変容に持っていくことです。国の大切な労働力を維持するためにも大切なことで、経済産業省も推進しています。そこで、病気になりやすい従業員を早期に発見する企業を支援するために『健康経営支援センター』というものを設立しました。今後はこの活動に力を入れていきたいと思います。

PROFILE

1966年 3月　大阪大学医学部卒業
1967年 4月　大阪大学医学部第二内科学教室入局、研究に従事
1977年10月　米国カリフォルニア大学サンディエゴ校留学
1988年 5月　大阪大学医学部（内科学第二）講師
1991年 8月～2003年3月　大阪大学医学部（内科学第二）教授
2000年4月～2002年3月　大阪大学医学部附属病院病院長
2003年4月　大阪大学名誉教授
2003年4月　一般財団法人住友病院院長
2019年6月より同名誉院長・最高顧問就任

就任のご挨拶

外科系　副院長

安宅 啓二
Keiji Ataka

2018(平成30)年12月より外科系副院長に就任いたしました。皆さま、よろしくお願いいたします。

住友病院は患者さまの健康管理のため安全・安心・信頼される医療を提供することを使命としています。急性期医療からリハビリ目的まで、当院には多くの患者さまがご来院、ご入院されます。私たちはお一人おひとりに最適な医療を提供するようにしていますが、近年の高齢社会の中、一人の患者さまがたくさんの病気をかかえておられる場合も少なくありません。そういった場合は早く治療することも難しくなり、複雑に絡み合った糸を解きほぐすように治療を進めることが必要となります。そこで、当院では内科系・外科系のすべての診療科が連携し、それぞれの専門医がしっかりと協力しながら治療を行う体制を整えて診療にあたっています。

手術を中心とした治療を行っている外科系の診療科でも、手術の種類によっては複数の診療科が一緒に手術をすることもあります。また、患者さまに安心して治療をうけていただけるよう、最新の機器と技術を駆使して手術を行い早期回復が得られるように日々努力しています。

救急医療体制も整備し、夜間、休日等の時間外でも、病院を頼りにするすべての患者さまに、全力でできる限りの医療を尽くし、地域の皆さまやかかりつけ患者さまが24時間365日、困ることが少しでもなくなるように努めています。

ソフト、ハードの両面から皆さまに良質な医療をご提供できるように、職員全員で頑張ってまいりますので、どうぞよろしくお願いいたします。

救急科 診療主任部長

杉野 達也
Tatsuya Sugino

本年4月から顧問兼救急科診療主任部長としてお世話になっています杉野達也と申します。

1978(昭和53)年に大阪大学を卒業すると同時に同附属病院特殊救急部(現在の高度救命救急センター)に入局、関連施設で消化器外科や呼吸器外科などの修練を積んだ後、兵庫県立西宮病院の救命救急センターに救急医として長らく勤務しておりました。

前任地では重症外傷や多臓器不全などの重症例(いわゆる三次救急)だけでなく、より一般的な急性疾患(脳卒中、心不全、肺炎、消化管出血など)や転倒による骨折などにも、二次救急として幅広く対応していました。また臨床以外では、阪神・丹波地域メディカルコントロール協議会に発足当時から関わり、救急隊業務の事後検証やプロトコール作成を通じて、救急救命士はじめ消防の皆さんとも意見を交わしながらプレホスピタル・ケア(急病人などを病院に運び込む前に行う病院外での救護活動)についても理解を深めることができました。

このたび縁あって、大阪市でも有数の急性期病院である住友病院で救急医として働けることになったことは、たいへん幸運であったと思っています。「質の高い二次救急医療」を主要テーマのひとつと考えてきた自分にとって、各診療科のレベルが高いことに加え、「一般内科」「総合診療科」という概念が根付いている病院の姿勢は、救急部門を預かる上での大きな支えとなります。

高齢化が進む一方、各専門医療も高度化・多様化する今、救急外来では様々な状況の中、限られた情報をもとに正確な診断と治療の方向性を示すことが要求されます。もちろん生命の危険があれば、ただちに的確な救命処置を行わなければなりません。幸い当院の救急センターでは、優秀な若手医師や看護スタッフたちが「熱い心」で患者さまのために頑張っています。「強く優しい救急チーム」が市民の命を守る存在となるよう、精一杯努力いたしますので、どうぞよろしくお願いいたします。

NEW FACE

上段左端から浅田、川端、川﨑　下段左端から山田、新堂、丸山、楠下

浅田 紘輔 Kosuke Asada

4月から初期研修医として大変お世話になっております、浅田紘輔と申します。
初期研修医2人目の浅田姓ですが、2年目の浅田侑樹は実の兄にあたります。兄弟2人揃って住友病院で医師としてのスタートを切ることができた御縁に感謝し、励んでいきたいと思います。

川﨑 友暉 Tomoki Kawasaki

初期研修が始まって早くも4ケ月が経ちますが、非常に教育的な先生方に囲まれ、日々自分の成長を実感しつつ、忙しくも充実した研修医ライフを過ごしています。各科を回る中で必要な知識と技量を身に付け、全人的医療を提供できる理想の医師像に一歩でも近づけるよう、毎日全力投球で頑張っていきます！今後とも、どうかよろしくお願いします！

川端 祥太 Shota Kawabata

私が初期研修に住友病院を選んだ理由としまして、医師の方々だけでなく、様々な分野のメディカルスタッフの皆さまが研修に対して理解を示してくださる環境だと感じたからです。実際に研修いたしまして、学ぶことが多く、自身で必要だと感じる知識を成書や文献で調べる意欲が湧く職場です。お世話になっている先生方や病院のお役に立てるように精一杯努力してまいります。

楠下　萌 Moe Kusushita

4月より研修させていただいております楠下と申します。少しでも患者さまの苦しみを取り除くことができればと医師を志し、縁あって信頼性の高い医療を重視する住友病院で働くことができて光栄です。住友病院の一員として皆さまの助けになれるよう、今後とも精進いたしますので、どうぞよろしくお願いいたします。

新堂 りな Rina Shindo

今年度より初期研修をさせていただきます、新堂りなと申します。
私の理想の医師像は、患者さまの声に耳を傾け、常に寄り添える医師です。お話を聞いて、学んで、素直に吸収して、医師としての基盤をしっかり築く研修期間にしたいと考えております。精一杯頑張りますので、どうぞよろしくお願いいたします。

丸山 紗季 Saki Maruyama

初めまして。初期臨床研修医としてお世話になります丸山紗季と申します。早く慣れて充実した研修に取り組めるようになりたいと思います。
6年間大学で学んできた知識とこれからの研修で得られる知識や経験を今後に役立てることができるよう積極的に研修をしていきたいと思います。今後ともよろしくお願いいたします。

山田 いづみ Izumi Yamada

私の目標は患者さまの心に寄り添うことができる医師です。住友病院は先生方もスタッフの皆さまも非常に優秀で教育熱心なだけでなく、患者さまのことを第一に考えている方ばかりなので、自分の目標とする医師に近づけるのではないかと思い、入職を決めました。一日でも早く、患者さまのお役に立てる臨床医になれるよう、精進してまいります。

From 栄養管理科 Healthy Recipe

季節のヘルシーレシピ

MENU スイカのフローズンヨーグルト

栄養管理科 管理栄養士 松井 陽大

暑い時期になってきました。熱中症が怖い時期が来たとも言えます。
熱中症予防としてしっかりと水や麦茶で水分補給しましょう。
スイカは90%が水分でミネラルも含まれており、熱中症予防の補助的な効果が期待できます。
今回のレシピはヨーグルトを使用することで市販のアイスと比べカロリーを抑えています。しっかり熱中症予防をして暑い時期を乗り切りましょう!

材 料 ／3人前

スイカ…150g(皮種除いて)　無糖ヨーグルト…100g　砂糖…10g
塩…少々　ミント(飾り用)…3枚

栄養価 ／1人前

カロリー…55kcal　たんぱく質…1.5g　脂質…1.1g　炭水化物…10.0g

作り方

❶スイカは種と皮を取って適当な大きさにカットする。
❷フリーザーバッグにスイカ、無糖ヨーグルト、砂糖、塩を入れる。
❸スイカを潰すようにもみこみながら材料を混ぜる(完全に潰さず果肉が残るように!)。
❹空気を抜いてジッパーを閉め平らにしてアルミトレーに乗せ2時間程冷凍する。
❺2時間後、再度もみほぐしさらに2時間程冷凍する(1時間おきにもむとより舌触りがなめらかに!)。
❻全体が程よく凍ったらもんでいい柔らかさにし、器に盛り付けミントを飾って完成。

スマートフォン(スマホ)で外来診療の待ち状況がチェック可能です!

診察待合で表示されている番号を、住友病院のサイトからスマホで確認する事が可能です。
「トイレに行っている間に呼ばれたらどうしよう…」
「早めに病院に着いてしまったので食事をしておきたいのでだが大丈夫?」
など、待ち時間を有効に使う場合は、本機能をご活用ください。

スマホアプリ SafariやGoogleから「住友病院」を検索 ▶ 「住友病院」のトップページにある ◷外来診療待ち状況 をクリック

スマホ トップページ画面

「外来診療待ち状況(オレンジ色の箇所)」をクリック

外来診療待ち状況のページ画面

科ごとの外来診療の待ち状況が一目で分かります

CLOSE UP!

クローズアップ

がんドックのご紹介

健康寿命を延ばすために、がんを含む病気を早期発見・治療することが大切です。当院の人間ドックはさまざまな病気をカバーする充実した基本メニューが特色ですが、このたび新たに"がんドック"を開始し、さらにご利用しやすくいたしました。加えて新たなオプションメニューとしてABI(足関節上腕血圧比)検査を導入しましたのでご紹介いたします。

がんドック

・大腸がんドック

大腸がんを早期発見するためのドックです。
大腸がんリスクの高い方(飲酒・喫煙歴がある、家族に喫煙者がいる、下痢・便秘症状がある、家族に大腸がんの既往歴がある)にお薦めです。

＜検査内容＞
大腸カメラまたは大腸ＣＴ検査＋腫瘍マーカー

検査内容	料金(税抜)
大腸カメラ	33,000円
大腸ＣＴ	35,000円

・肺がんドック

肺がんを早期発見するためのドックです。
肺がんリスクの高い方(喫煙歴がある、家族に喫煙者がいる)にお薦めです。

検査内容	料金(税抜)
胸部ＣＴ＋喀痰細胞診	21,000円

新オプションメニュー
(日帰り・宿泊コースのオプション)

・ABI検査　3,000円(税抜)

両手と両足首４ヵ所の血圧を同時に測定する簡単な検査です。
動脈硬化の程度(足の動脈の狭窄・閉塞)や血管のしなやかさを調べることができます。

お申し込み、お問い合わせ　健康管理センター
TEL.06-6447-3013　平日／9:30～16:00

地域医療連携部長 就任ごあいさつ

本年4月から地域医療連携部長を拝命しました阪口勝彦です。お受けした時一つのフレーズを思いました。「One for all All for one」有名な言葉です。"地域医療連携部の目指す"言葉と思いました。

住友病院は急性期病院でありますので、地域（住友病院にとっては、この"地域"は広域でありますが）の病院や診療所からご紹介をいただき、専門的な診断、治療をいたします。そしてその後、リハビリや継続的な治療を行う場合には、適切な時期に、適切な病院や施設に紹介させていただきます。もちろん、自宅退院になれますよう、できる限りサポートさせていただきます。これらのことは地域医療連携部の重要な役割です。その結果、患者さまから「住友病院に来て良かった」と、地域の病院・診療所の先生から「大切な患者さまを住友病院に紹介して良かった」と喜んでいただけることが私たちの喜びです。そのためにも、地域の病院・診療所からご紹介いただいた患者さまが、診療までスムーズにいくお手伝いを地域医療連携部が行っています。

はじめの言葉に戻りますが、私の「One for all」は、地域の病院・診療所・多くの方々のための住友病院。そのため、まずは住友病院をより知っていただく事が大切と思っています。「All for one」は、患者さまのため、それぞれの科・それぞれの部門が能力を出し合い力を尽くすこと。元の解釈とは少々異なりますが、「One for all All for one」をそういう意味でとらえております。地域の病院、診療所、施設の皆さまと連携して一人の患者さまの為に「安心」をお届け出来ます様につとめていきたいと思います。

「One for all All for one!!」

よろしくお願いいたします。

地域医療連携部長
（内科系副院長、腎センター長）

阪口 勝彦
Katsuhiko Sakaguchi

Newsweek 2019 「世界の1000病院」に当院が選出されました

Newsweekが選ぶ、世界のベスト病院2019に当院が選出されました。
日本全国で105施設、大阪では5大学病院を含む9施設の1つとして、当院が選ばれています。
これを励みに職員一同、今まで以上に医療を通じて社会に貢献できるよう、務めてまいります

連携クリニックのご紹介

住友病院では地域の医療機関との相互連携を密にし、最善の治療環境の実現を目指しています。このコーナーでは、当院の連携医としてご協力いただいている先生方をご紹介します。

今川クリニック

診療科目：精神科、神経内科、心療内科

〒553-0003 大阪市福島区福島6-4-10 ウエストビル2F
TEL. 06-6442-9780　https://imagawa-clinic.com/

院長 福本 素由己 Motoyuki Fukumoto

【アクセス】
JR大阪環状線「福島駅」
徒歩約3～4分

2000（平成12）年5月に開院した今川クリニックは、近畿二府三県を中心に毎月約700名の患者さまが来院される精神科・神経内科・心療内科を中心とするメンタルクリニックです。福本素由己院長にお話をうかがいました。

▶認知症疾患に関する患者さまが多いそうですね。

はい。認知症疾患の早期発見と予防に力を入れています。早期発見には保険適用外の検査を数種類（脳内物質を測定する血液検査、遺伝子検査、脳梗塞・心筋梗塞の発症リスク検査等）実施しています。また、睡眠障害は認知症と誤って診断されるケースがあるので、睡眠外来を開設し、自宅での睡眠時無呼吸検査も行っています。

▶予防の方はどのようなアドバイスをされていますか。

認知症予防には生活習慣や食事も重要です。また、内科疾患を合併されている方もあり、近隣の内科医と協力して生活習慣指導や食事指導にも力を入れています。

▶認知症疾患以外にも力を入れられていることは？

総合失調症、うつ、不眠、適応障害など私の専門分野を生かし、思春期外来を開設しました。そのため近隣の若年層の患者さまも増えています。

▶メッセージをお願いします。

少しでも気になる症状がありましたら受診してください。一人でも多くの方に認知症を理解していただき、予防と早期発見を目的とした診断検査を受けて、軽度の段階から治療を開始してもらいたいと思っています。

医療法人やまびこ会 堀江やまびこ診療所

診療科目：腎臓内科、人工透析内科

〒550-0015 大阪市西区南堀江 3- 9-11　堀江家具新館ビル 1・2F
TEL. 06-6532-0303　http://yamabico.or.jp

院長 横畠 知沙子 Chisako Yokobatake

【アクセス】
Osaka Metro千日前線
「西長堀駅」6番出口より
徒歩約5分
「桜川駅」2番出口より
徒歩約3分

透析をされている患者さまの身になって様々なサポートを行っていらっしゃる堀江やまびこ診療所。横畠知沙子院長は、患者さまに寄り添い、前を向いて進んでいただけるようサポートすることがご自身の役割だと考えていらっしゃいます。

▶大阪府下でも珍しいオーバーナイト透析を行っていらっしゃいますね。

透析は拘束時間が長いのですが、ご自身の時間を大切にそして有効に使っていただけるよう夜8時から翌朝6時45分までのオーバーナイト透析を行っています。より効果を高めるための長時間透析や、週4回透析に対応するため、日曜日の受入も行っています。会社勤めをされている方、主婦の方に少しでも不自由なく社会生活が送っていただけるようサポートしたいと思っています。

▶透析を受ける環境にも配慮されていますね。

半個室23床、完全個室6床でプライベートに配慮した環境の中、安心・安全な透析医療を受けていただいています。また、透析室の温度や空調管理にも気を配っており、風の強弱を感じないで温度調節ができるシステムも導入しています。

▶メッセージをお願いします。

しっかり食事をとって、しっかり透析治療を受けていただくことを患者さまにお薦めしています。実践していただくことで体調が良くなり、仕事や私生活の質が向上するよう、これからも取り組んでまいります。

医療機関の皆様へ【検査・診療予約のご相談はこちらまで】

住友病院 地域医療連携部　TEL. 06-6447-3031（直通）FAX. 06-6447-3052
受付時間／平日 8:30～19:00

インフォメーション

住友病院で盆踊り?!

下記の通り、納涼コンサートを行います。参加は無料です。ぜひ皆さまお誘い合わせのうえご参加ください。

日時：2019年7月11日(木)17:15～18:00
会場：住友病院1階エントランスホール　※参加無料・どなたでも参加可能
内容：①演奏2曲（15階病棟スタッフ）「上を向いて歩こう」「キラキラ星」
②観客の皆さんと一緒に盆踊り
③コーラス（千里金蘭大学生）「故郷の四季」「Winding Road」

過去のコンサートの様子

ヒーリングコンサートのご案内

昨年も大好評だった「100万人のクラシックライブ」によるヒーリングコンサートを開催いたします。ヴァイオリンの横山亜美さん、ピアノの田原希美さんによる素晴らしいコンサートです。夏の終わりのひと時を一緒に楽しみませんか。

日時：2019年8月29日(木)17:00～17:45
会場：住友病院1階エントランスホール　※参加無料・どなたでも参加可能

中之島なつまつり2019が開催されます

昨年もたくさんの方が来場された「中之島なつまつり」。今年も当院に隣接している大阪国際会議場1Fプラザと中之島バンクスにて開催されます。河内音頭の第一人者、河内家菊水丸氏も祭りを盛り上げます。

日時：2019年８月26日（月）17～21時頃
会場：大阪国際会議場（グランキューブ大阪）１Fプラザ　他

昨年の中之島なつまつりの様子

2019年度 市民公開セミナー開催予定

当院では、市民の皆さまに医療に関する理解を深めていただき、健康促進にお役立ていただくことを目的にセミナーを開催しております。参加費は無料ですので、どうぞご参加ください。

■場所：当院14階講堂　■参加費：無料

日 時	テーマ（仮題）	担当（予定）
2019年7月20日（土） 14:00~16:00	肺がんの薬物療法の進歩～分子標的薬と免疫チェックポイント阻害薬を中心に～	呼吸器内科
2019年9月19日（木） 14:00~16:00	笑顔をもたらすリハビリテーション	リハビリテーション科
2019年11月23日（祝・土） 14:00~16:00	食物アレルギーとアナフィラキシー	小児科
2020年3月14日（土） 14:00~16:00	大腸がんの診断・治療	外科

※セミナー開催予定は予告なく変更する場合がございます。
スケジュール、最新情報、申し込み方法等詳細は、当院ホームページでご確認ください。

〒530-0005　大阪市北区中之島5-3-20　TEL.06-6443-1261（代表）
【受付時間】 午前8:30～11:30　午後12:30～3:00

"Sound"には、「音」のほかに「聴診する」「健康な」「確かな」という意味も含まれています。

住友病院だより「Sound」 ◎発行人：金倉 譲 ◎編 集：栃尾 雅彦、西野 秀、増田 亮
※広報誌「Sound」に関するご意見などは、企画室までご連絡ください。住友病院だより【Sound vol.45】2019年7月1日発行

Japan Council for Quality Health Care
日本医療機能評価機構
住友病院は、大阪府がん診療拠点病院です。
住友病院
住友病院　検索